

北陸電力送配電による 初の JICA 研修事業 脱炭素社会の実現に向け電力送配電技術をオンラインで

研修日程： 8月23日(月)～9月3日(金)

対象国：【Aグループ】サモア、ラオス、スリランカ(計6名)

【Bグループ】ジャマイカ、セルビア(計3名)

協力機関： 一般社団法人 海外電力調査会、北陸電力送配電株式会社

取材対象日時： (※いずれも【Aグループ】)

8月24日(火)12:00～13:30 自国の実情と課題発表

9月3日(金)12:00～14:30 「アクションプラン」発表会、14:30～15:00 閉講式

取材場所： JICA 北陸 (※JICA 職員のみ対面取材可。他関係者への取材はオンラインにて)

言語： 英語 (※逐次通訳つき)

再生可能エネルギーの導入は、開発途上国でも盛んに検討されています。独立行政法人国際協力機構(JICA)が行う国際協力事業では、日本各地の電力会社の協力により発電技術や電力の安定供給に関する開発途上国向けの研修を行っています。今般、北陸電力送配電株式会社の協力を得て、太陽光発電などの変動制再生可能エネルギー(VRE)が大量に導入された際に生じる電力系統への影響や課題、対策をテーマに研修を実施することとなりました。2050年のカーボンニュートラル達成に向け再エネ主力電源化を進める同社は、VREが多数接続された電力系統の運用実績が豊富で、そのノウハウを活かした研修内容を予定しています。

研修参加者は各国の電力事業に関わる政府関係者や事業者です。新型コロナウイルス感染拡大の影響で短期研修はオンラインで実施されており、動画やテキストによる自己学習と、オンライン会議ツール(Zoom)を活用したリアルタイムの討議・実習・質疑応答が行われます。2日目(8月24日(火))には研修員が各国の実情と課題の説明を行い、最終日(9月3日(金))には学びを今後の業務に活かすための事業計画「アクションプラン」の発表会が行われます。

オンラインで、研修実施担当や開発途上国の研修員への取材も可能です。
ご関心のある報道関係者は是非取材をご検討ください。

【問合せ先】

独立行政法人国際協力機構 北陸センター (JICA 北陸) 野吾 (やご)

TEL 076-233-5931 e-mail: Yago.Naoko@jica.go.jp